

【終了報告書】

研修先大学/ 活動先機関名	n University English Language Ins	参加 プログラム名	春季語学研修ディーンプログラム	国名	オーストラリア
氏名		学籍番号		学科	国際関係学科
参加時の 学年	1年	参加費用 (日本円での概算)	約70万円		
参加日程	2024年 2月 6日 ~ 2024年 3月 9日 (4週間)			記入年月日	2024年 3月 18日

① 参加前について

研修・活動に参加する目標は何でしたか。

この語学研修に参加した目標は、自分自身の英語力を高めるためであった。英語が公用語である国に行き、強制的に自分を英語を使う環境に置くことで、日本ではあまり伸ばすことのできないスピーキング力や、ネイティブスピーカーが話す英語を聞き取る力を身につけることを目標とした。そのためにホストファミリーや現地の学生と積極的に会話をするという目標をたて、今回の研修に臨んだ。また、英語力だけでなく異文化を理解したりオーストラリアの歴史について学び、自分自身の視野を広げることも目標とした。

② プログラムについて

研修・活動の感想

平日に行われる授業では4技能全てを総合的に学びました。ライティングではエッセイの書き方を学び、英語でエッセイを書く時の注意点や英語の言い回しなどを知ることができました。リスニング力とスピーキング力は先生の指示を理解しクラスメイトと英語を使って議論をする際にたくさん練習することができました。そしてリーディング力は授業中に読む教科書や板書はもちろん、授業外で大学からのメールだったりメニューを読む際、チラシを見ることで伸ばすことができました。また、授業の他に昼休みの時間を活用してILOと呼ばれるコンパセーションルームに通い様々な留学生と話をしたり、パディプログラムという現地の大学生と話す機会を利用して自分の英語力を伸ばす機会がたくさん用意されておりとても充実したものとなった。

研修・活動以外の部分についての感想

普段の生活ではホストファミリーと話す機会を多く持てたことがとてもよかったと感じる。毎日今日はどのようなことをしたのか、オーストラリアについての知識など、内容は普通だがそれを英語で行うという行動を習慣的に行えたことが良かった。初めのうちはすぐに単語が出ず自分が言いたいことを完全に伝いきれないことが多かったが、毎日英語を使うことで徐々に英語に慣れていき語彙力が aumentare たくさん会話ができるようになっていった。このことから英語を話せるようになるには、英語を話すということを習慣的に行うようにし、英語を使う環境に慣れることが大切なのだと感じた。また、シティにいきレストランなどに入った時に現地の人が話す英語を理解しなければならず強制的に英語を使わざるを得ない環境にいたことでリスニング力がとても伸びたと感じる。

現地学生との交流について教えてください。 ※交流がなかった場合は、空欄で構いません

学校が行っていたパディプログラムというのに参加し、現地の学生と4週間で計5回話す機会ができた。そのうちの一回はチャドストーンショッピングセンターという商業施設に行き、様々なお店に入り英語を使いたくさん会話することができた。また、私が知り合ったその学生はコロンビア出身の方だったので少し英語に訛りがあり初めのうちは聞き取るのに苦労したが、会話を重ねることで聞き取れるようになったことがとても嬉しかった。このように現地で実際に話されている英語に触れる機会は海外で実際に生活することで得られる機会だと思うのでとても良かった。

③ 参加の成果について

今回の参加を経て、ご自身の中での学習面・精神面の成果があれば教えてください。

今回この語学研修を通して学習面では特にリスニング力とスピーキング力を伸ばすことができた。スピーキング力を上げる上で大事なことは発音が分からないからと言ってあやふやに話すのではなく、はっきりと話すことで相手により伝わりやすくなること、またネイティブスピーカーの話し方をシャドーイングすることでより感情を乗せて話すことができることを学んだ。また、精神面としては初めのうちは慣れない環境、知らない人たちに囲まれるという環境下で不安なことが多かったが、この気持ちを持っているのは留学生全員同じであり不安になりすぎることではないことを学んだ。また積極的に人に話しかけていくことで友達が増え、その土地の特徴や仕組みについてどんどん学べるが増え、精神的な支えになると思った。

④ その他

その他、気づいたことや今後参加する方へのメッセージがあれば記入してください。

初めは誰も知り合いがおらず英語力にもそこまで自信がなかったため本当に1ヶ月乗り越えられることができるのか不安でいっぱいだったが、周りの留学生たちも同じ思いを持っておりお互いに助け合うことで解決できるものだと気づいた。また、実際に英語圏の国に行って英語を強制的に使う環境に身を置くことで英語力が伸びるだけでなく、世界を広い視野で見ることができ自分の将来に必ず役に立つ経験だと感じた。もしこのプログラムに参加しようか迷っている人がいたら、絶対に後悔しないと思うので参加するべきだと勧めたい。



クラスメイトとの最後の授業



Deakin Universityのオブジェクトの前で